

ライフ&カルチャーコミュニティ「She is」から学ぼう！

コミュニティ

メディアの

はじめ方



SPBS
THE SCHOOL

SPBS THE SCHOOL
ライフ&カルチャーコミュニティ
「She is」から学ぼう！

「コミュニティメディアの
はじめ方」ワークショップ

2020年10月23日ー

2021年1月13日

水曜日の19:00-22:00開講 ※初回のみ金曜

お申込みはWEBにて！

受付〆切:10月19日(月)

仕事ではテレワークが進み、プライベートでは一緒に食べたり笑いあったり歌ったりすることが減り、増えてきたのは一人での時間と、先の見えない不安……。あたりまえの日常が変わりつつある中、自分のライフスタイルや、心が本当に求めることが何なのかを、見つめ直す人も多いのではないのでしょうか。そんな今だからこそ、“人とのあたらしいつながり方、コミュニティの形”を考え、作ってみませんか？SPBSは、コミュニティメディア運営の先駆者で、20代・30代の女性に熱く支持されている「She is」と共に、10月よりワークショップ『これからの時代のコミュニティメディアのはじめ方』（全7回）をオンラインにて開講します。

ABOUT “She is”



20代・30代の女性に圧倒的に支持されている「She is」は、編集者の野村由芽さんと竹中万季さんが身近に感じていた課題意識から生まれたメディアで、コンセプトは“自分らしく生きる女性を祝福する参加型のライフ&カルチャーコミュニティ”。のびのびおしゃべりできる場所のようなオンラインメディアで、会員になると毎月ギフトが届いたり、メディア内の発信者である“Girlfriends”とのトーク、ライブ、ワークショップに参加できます。

「She is」野村由芽さん・竹中万季さんより

She isは同じ会社の同僚である二人の日常会話から生まれた場所です。日々の生活のなかで生まれた違和感など「もっと話せたらいいな」と思っていることを話せる場所がなかったので、なければつろう、もしかしたらどこかにそうした場所を求めている人がいるかも、という気持ちで立ち上げました。この講座を通じて、思いのこもった場所がたくさん生まれることを祈っています。

講師プロフィール



竹中万季(たけなか・まき)さん

1988年生まれ。カルチャーメディア「CINRA.NET」などを運営するCINRAに入社後、企業や行政とのさまざまなプロジェクトにおけるプロデュースやプランニング、編集などを担当。2017年9月に「She is」を立ち上げ、ブランドリーダーとしてプロデュースや編集などを担当。



野村 由芽(のむら・ゆめ)さん

1986年生まれ。編集者。カルチャーメディア「CINRA.NET」においてクリエイターやアーティストの取材・編集、アジアのバイリンガルシティガイド「HereNow」の東京キュレーターなどを務め、2017年に「自分らしく生きる女性を祝福するライフ&カルチャーコミュニティ「She is」」を立ち上げ、編集長に就任。

⇒ 私たちが考える「メディア」とは

本ワークショップでは、「メディア」とは狭義の“媒体”にとどまらず、情報発信のプラットフォームやお店、場所、本、アートなど、人とつながるあらゆるものを指しています。皆さんとともに自由な発想で、自分が感じている課題や叶えたい思いを形にしたコミュニティメディアを考えていきたいと考えています。

⇒ あなたのプランが「She is」に！

※ワークショップ受講者のみ

ワークショップでできあがったメディア構想は「She is」内に記事として掲載されます。そこからまた新しいつながりや、実現までの応援を得る機会になるかもしれません。

ワークショップ概要

- 会場 オンライン配信 (Zoomウェビナー) *見逃し配信あり
- 開催期間 2020年10月23日~2021年1月13日 (全7回)
- 定員 (ワークショップ) 30名 (先着順)
- 受講料 60,000円 (税別) / 全7回トーク+ワークショップ
* 課題図書5冊付きワークショップ 69,000円 (税別)

* 各回トークのみの受講も別途受付予定 (人数限定)
(ワークショップの単日参加は不可)

申し込み方法

1. 「ライフ&カルチャーコミュニティ「She is」から学ぼう!「コミュニティメディアのはじめ方」ワークショップ」特設ページの申込みフォームより、必要事項を記入し申し込みください。
2. お申し込みフォーム到着後、受講手続き方法に関するメールを土日祝日を除く3日以内にご連絡します。
3. 講座料の入金を確認し、申し込み完了となります。

お申し込みはSPBS公式HPの特設ページ(右QRコード)より→



<p>第1回</p>	<p>【MY BOOK TALK】 マイバイブル読書会 &自己紹介 <small>※ワークショップ受講者のみ</small></p>	<p>10/23(金) 20:00-22:00</p>	<p>世の中のメディアの原点ともいえる“本”。今まで「自分が影響を受けた一冊」を選んでいただき、いつ、なぜ、影響を受けて、今の自分にどのように繋がっていると思うか、自己紹介も含めてご紹介いただけます。プレストタイムではざっくりばらんに無意識に影響を受けてきた映画や音楽、お店や体験など、本だけでない心に残っている広義のメディアについて意見交換の時間ももうけたいと思っています。</p>	<p>She is (野村由芽さん、 竹中万季さん)</p>
<p>第2回</p>	<p>コミュニティメディア はじめます!を 宣言する</p>	<p>10/28(水) ①19:00-20:00 ゲストトーク (haru.さん) ②20:30-22:00 ワークショップ</p>	<p>心の動いた瞬間、場所を参考に、コミュニティメディアをはじめめるために必要な、個人の「課題意識」を明確にします。日々生活をする中で感じていること、心の中にある些細な心配事やちょっとした気持ち、引っ掛かりや課題意識に向き合っってコンセプトやテーマを明確にし、新しいコミュニティメディアをはじめます!と一度宣言するところからスタートしていただきます。</p>	<p>haru. さん She is</p>
<p>第3回</p>	<p>誰と?どこで?何を? コミュニティメディアの 設計図を作る</p>	<p>11/4(水) ①19:00-20:00 ゲストトーク (NO YOUTH NO JAPAN さん) ②20:30-22:00 ワークショップ</p>	<p>課題設定と実例を参考にコミュニティメディア作りを方向付ける「核」を設定します。コミュニティメディアとひとことでいえどその形はさまざま。SNSのクローズドコミュニティからサークル、Webプラットフォームや雑誌の編集部、クリエイティブ集団から課題解決のプロジェクトチームやアートフェア、秘密結社から倶楽部など、誰と、どこで?何を?枠にとらわれない自由な発想で、コミュニティの設計図を作成していただきます。</p>	<p>NO YOUTH- NO JAPAN さん She is</p>
<p>第4回</p>	<p>ここに集まれ! コミュニティメディアの “入り口”を作る</p>	<p>11/18(水) ①19:00-20:00 ゲストトーク (平山潤さん) ②20:30-22:00 ワークショップ</p>	<p>コミュニティメディアのチームづくりをはじめめる第一歩を設定します。どれくらいの声量で、どこで声をかけ、どれくらいの期間で、どんな形で人に集まってもらうのか。実際にコミュニティを立ち上げる時、伝わる方法はSNS上?もしくはメール?手紙?電話?直接?第2回で設定したどんな人に集まってもらいたいのか?を起点に、集まってもらう、参加してもらうための“入り口”の作り方を考えます。</p>	<p>平山潤さん She is</p>
<p>第5回</p>	<p>こんなことを していきます。 コミュニティ白書を作る</p>	<p>12/2(水) ①19:00-20:00 ゲストトーク (ハヤカワ五味さん) ②20:30-22:00 ワークショップ</p>	<p>コミュニティメディアを運営、継続させていくために重要な、構造や仕組み、運営構想を明確にします。どんな人にどんな場所で集まってもらうことが決まったら、コミュニティメディアを運営し、続けていくための構造や仕組み、マネタイズ方法などについて考えていただきます。</p>	<p>ハヤカワ五味さん She is</p>
<p>第6回</p>	<p>私たちのコミュニティが 社会に必要な理由を プレゼンする</p>	<p>12/16(水) ①19:00-20:00 ゲストトーク (龍崎翔子さん) ②20:30-22:00 ワークショップ</p>	<p>あたらしいコミュニティの形が見えてきたところで、一度グッと引いてみる時間です。コミュニティといえど人が集う場所がないといけない理由や、そのコミュニティができることはそもそも社会にとって、どんな意味があるのか、一度フラットに考えてみることでコミュニティの必要性について考えます。</p>	<p>龍崎翔子さん She is</p>
<p>第7回</p>	<p>コミュニティメディア 企画発表会 <small>※ワークショップ受講者のみ</small></p>	<p>2021年 1/13(水) 20:00-22:00</p>	<p>ここまで考えてきたコミュニティメディアの構想を発表する機会を設けます。She isさんに講評いただけます。また、ここまでともに作ってきた仲間からのコメントもお届けします。</p>	<p>She is</p>

本ワークショップでは、<オープントーク+ワークショップ>形式でゲストを招いたオープントーク(60分)+She isが講師をつとめるワークショップ(90分)の2部構成で実施します。
 ※ワークショップ参加者には、各回のオープントークに無料でご参加いただけます。また、オープントークのアーカイブ配信もお送りします。
 ※定員に達し次第、先着順で受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。定員に達しない場合は、ワークショップの開講を見合わせる可能性があります。
 ※各講師のプロフィールはSPBS公式HPにてご確認ください。お問い合わせは、SPBSスクール事務局宛(school@shibuyabooks.co.jp)をお願いします